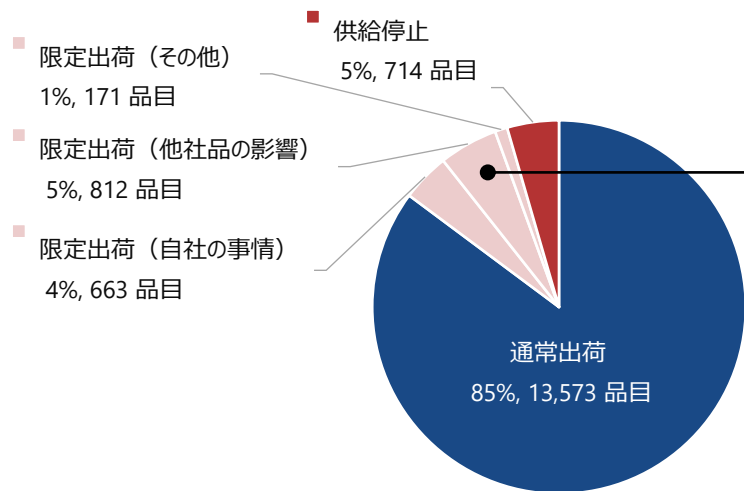


1 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年3月）

- 製造販売業者の対応状況については、調査対象16,618品目に対し、15,933品目の回答を得た。
○ 結果としては、**限定出荷・供給停止が合計15%**（2,360品目）であり、限定出荷の要因としては「**他社品の影響**」による**ものが最多**であった。

1 医薬品全体の対応状況 ※1

※1 薬価削除手続き中の品目を含む



カテゴリー別：「供給停止」、「限定出荷」の割合

2025年3月 調査結果	供給停止		限定出荷	
	銘柄数	構成比	銘柄数	構成比
先発品	63	9%	154	9%
長期収載品 ※	29	4%	77	5%
後発品	406	57%	1,006	61%
その他医薬品 ※	216	30%	409	25%
合計	714	100%	1,646	100%

項目の定義

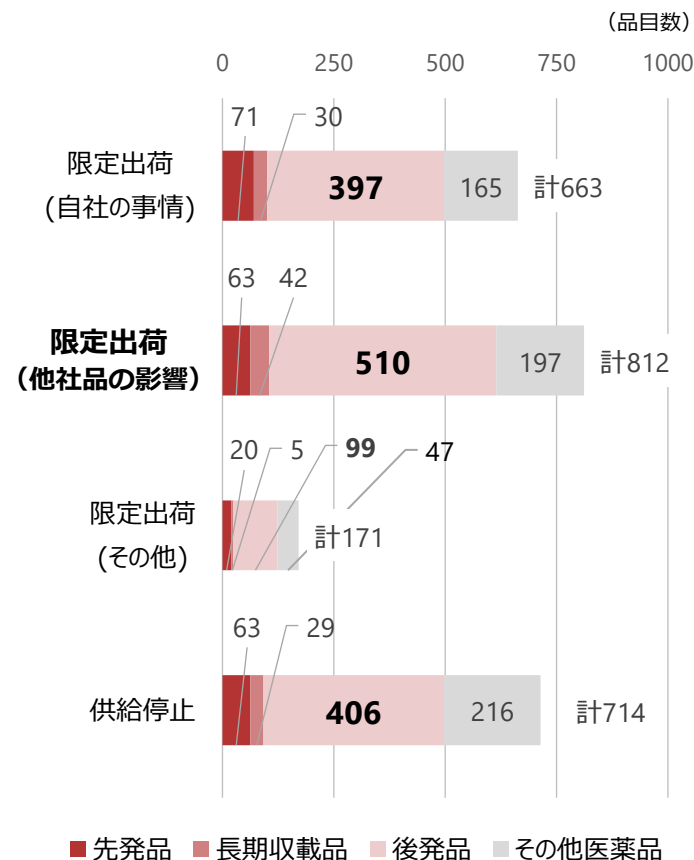
※長期収載品：後発品のある先発品

※その他の医薬品：局方品、漢方エキス剤、生薬、生物製剤（ワクチン、血液製剤等）、承認が昭和42年以前の医薬品など

カテゴリー別：限定出荷の要因（自社事情、他社品の影響）分析

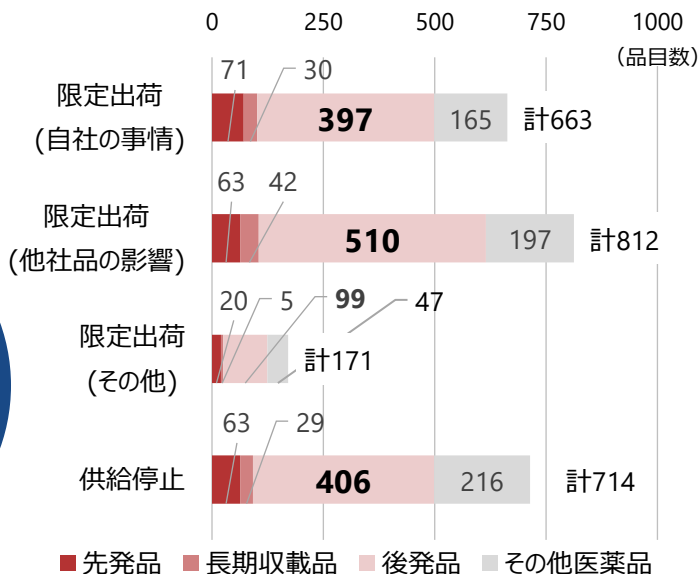
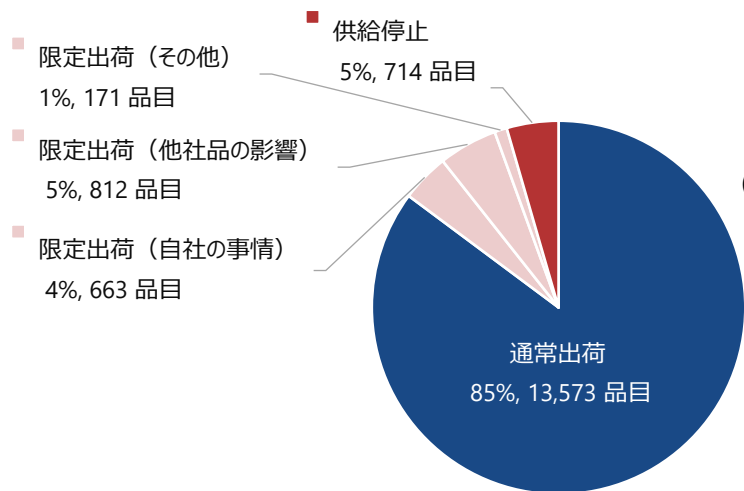
2025年3月 調査結果	限定出荷							
	自社の事情		他社品の影響		その他		合計	
先発品	71	11%	63	8%	20	12%	154	9%
	46%		41%		13%		100%	
長期収載品 ※	30	5%	42	5%	5	3%	77	5%
	39%		55%		6%		100%	
後発品	397	60%	510	63%	99	58%	1,006	61%
	39%		51%		10%		100%	
その他医薬品 ※	165	25%	197	24%	47	27%	409	25%
	40%		48%		11%		100%	
合計	663	100%	812	100%	171	100%	1,646	100%
	40%		49%		10%		100%	

2 限定出荷・供給停止の内訳

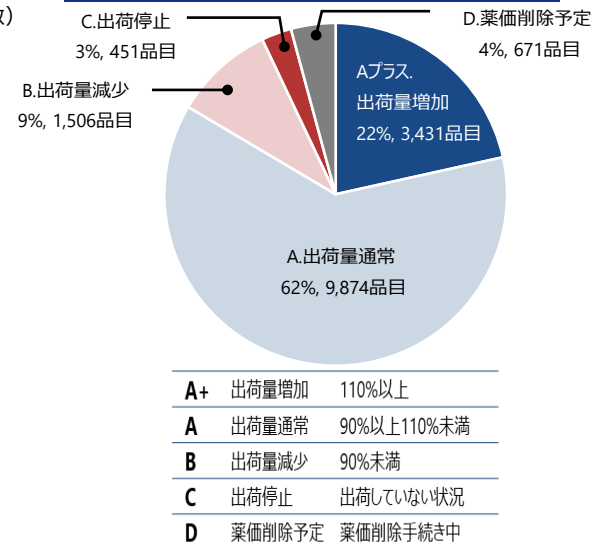


1-2 製造販売業者の対応状況—医薬品全体（令和7年3月） （薬価削除予定品目有無別）

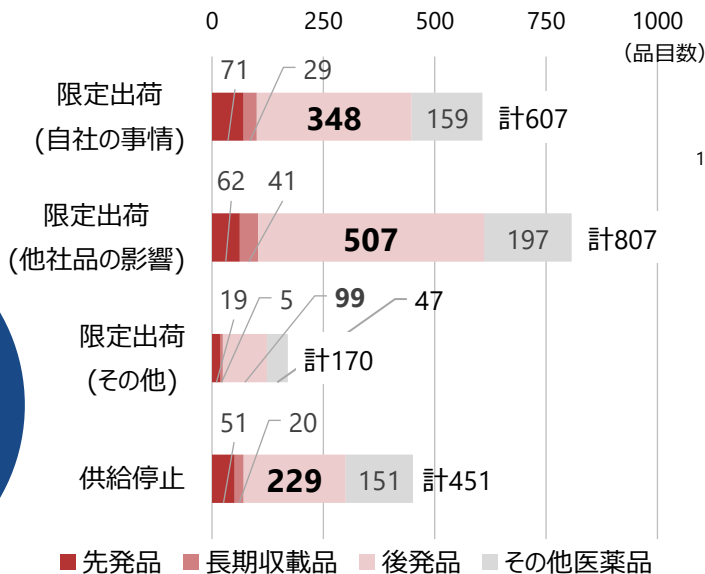
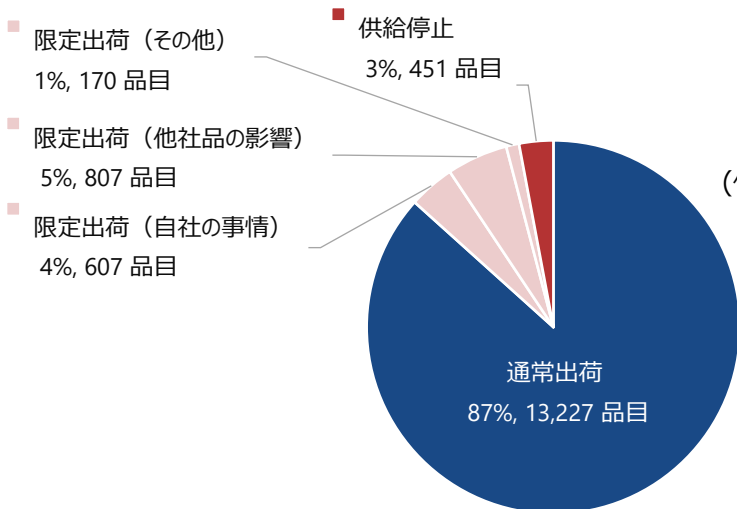
医薬品全体の対応状況



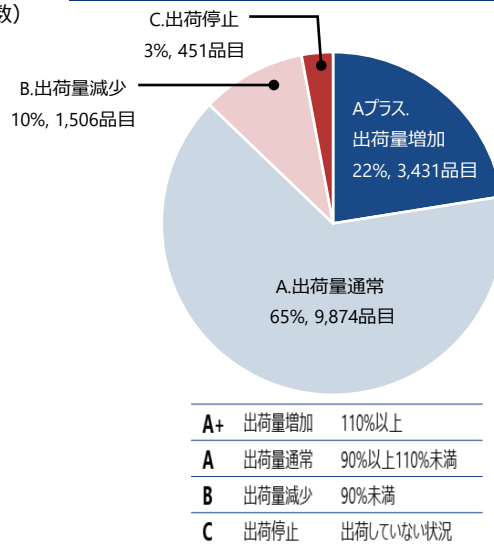
医薬品全体の出荷量の状況



医薬品全体の対応状況

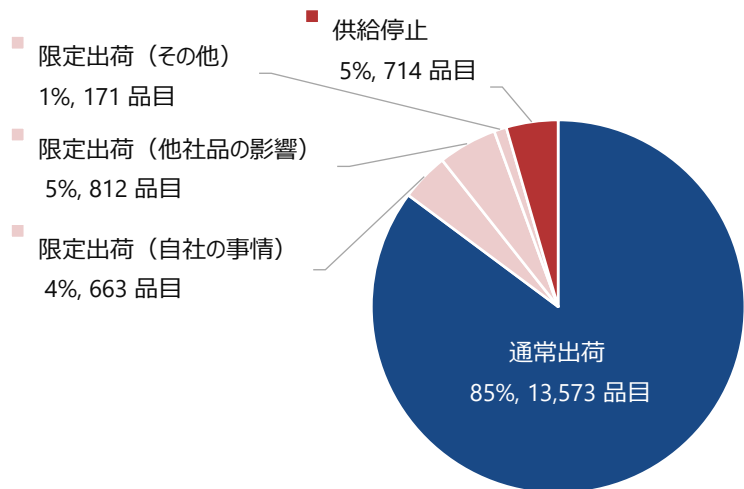


医薬品全体の出荷量の状況

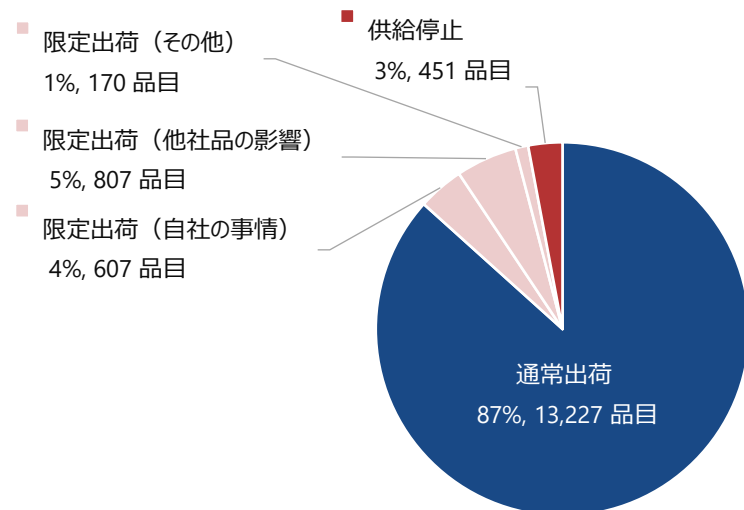


1 - 3 ① 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和6年度） （供給（限定出荷・供給停止）の状況）

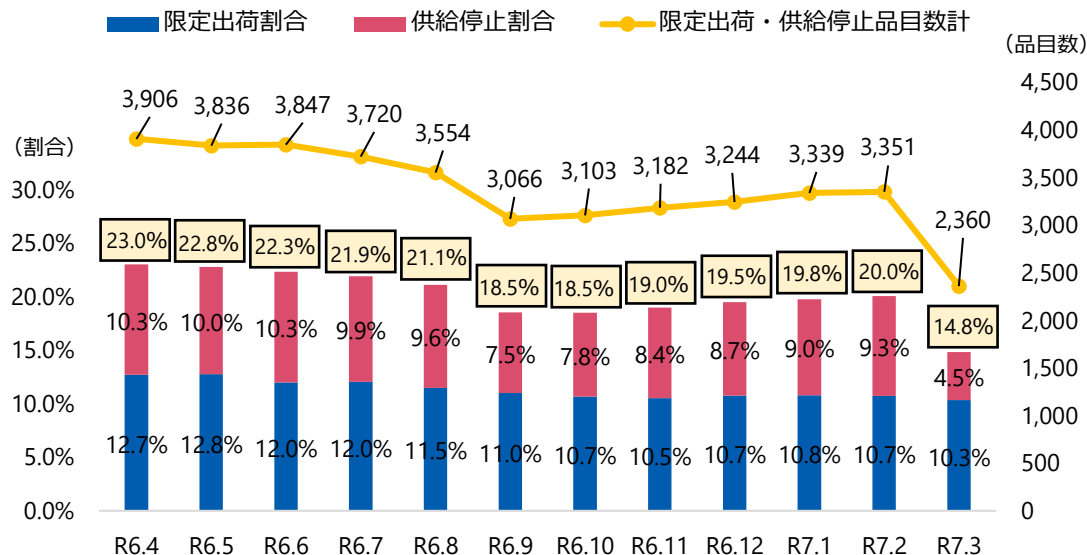
医薬品全体の対応状況（令和7年3月）



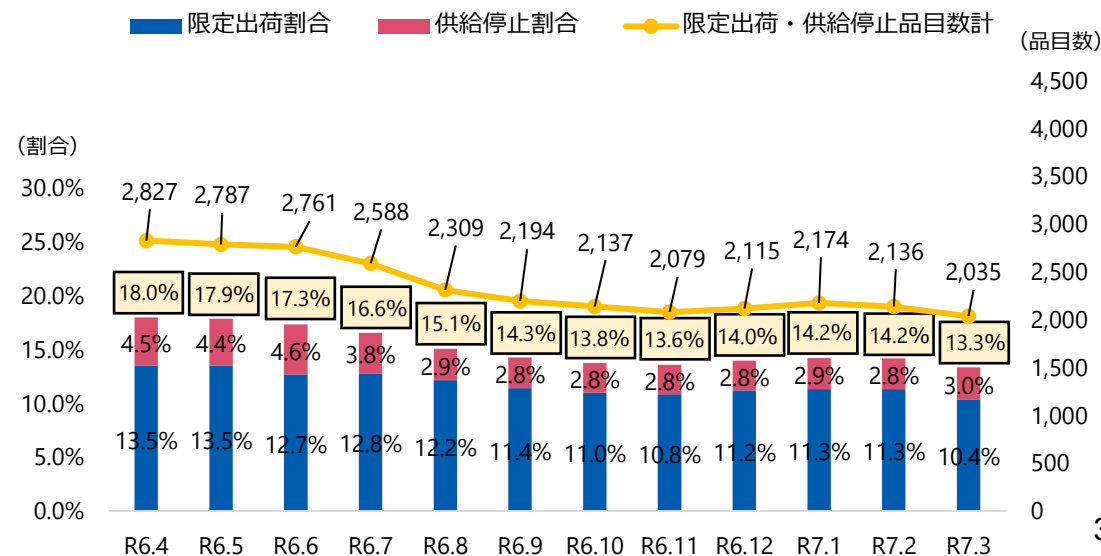
医薬品全体の対応状況（令和7年3月）



医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移

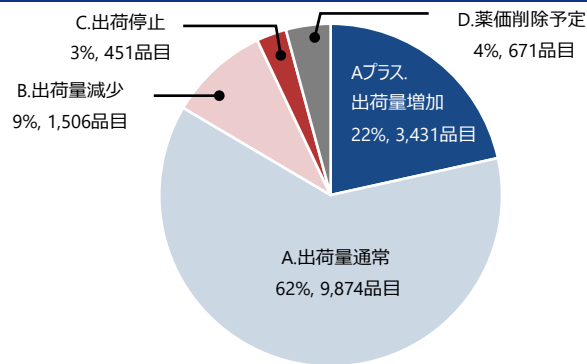


医療用医薬品の限定出荷・供給停止の推移



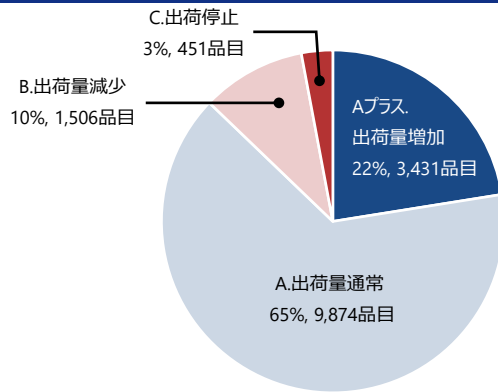
1 - 3 ② 医療用医薬品の限定出荷・供給停止の状況の推移（令和6年度） （出荷量（減少・停止・薬価削除予定）の状況）

医薬品全体の出荷量の状況（令和7年3月）



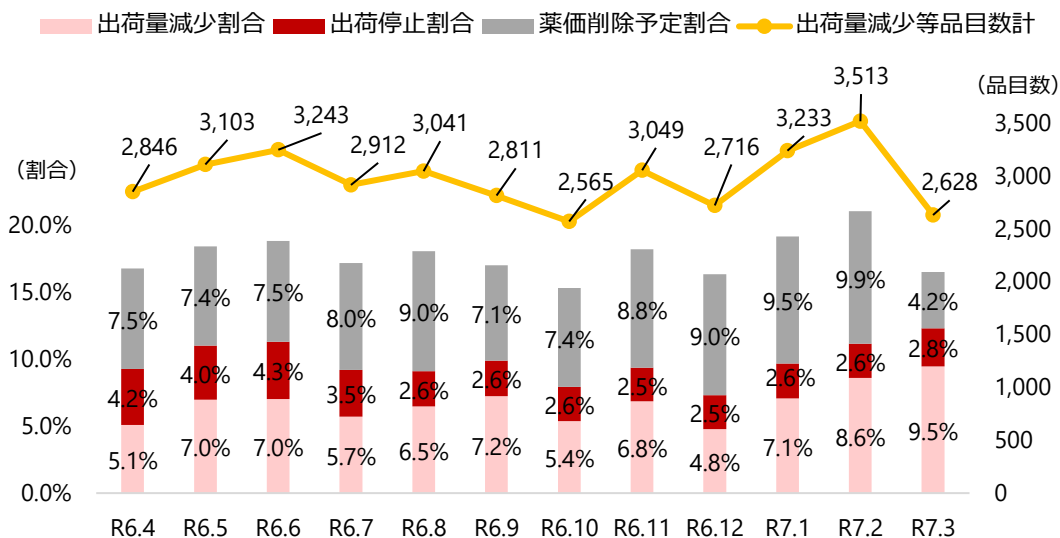
A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

医薬品全体の出荷量の状況（令和7年3月）

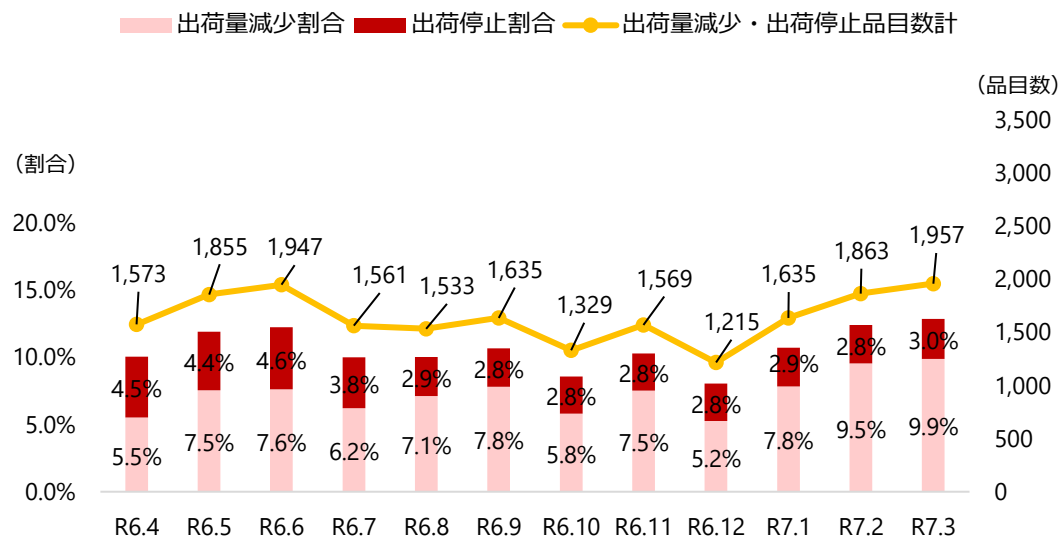


A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況

医療用医薬品の出荷量の推移



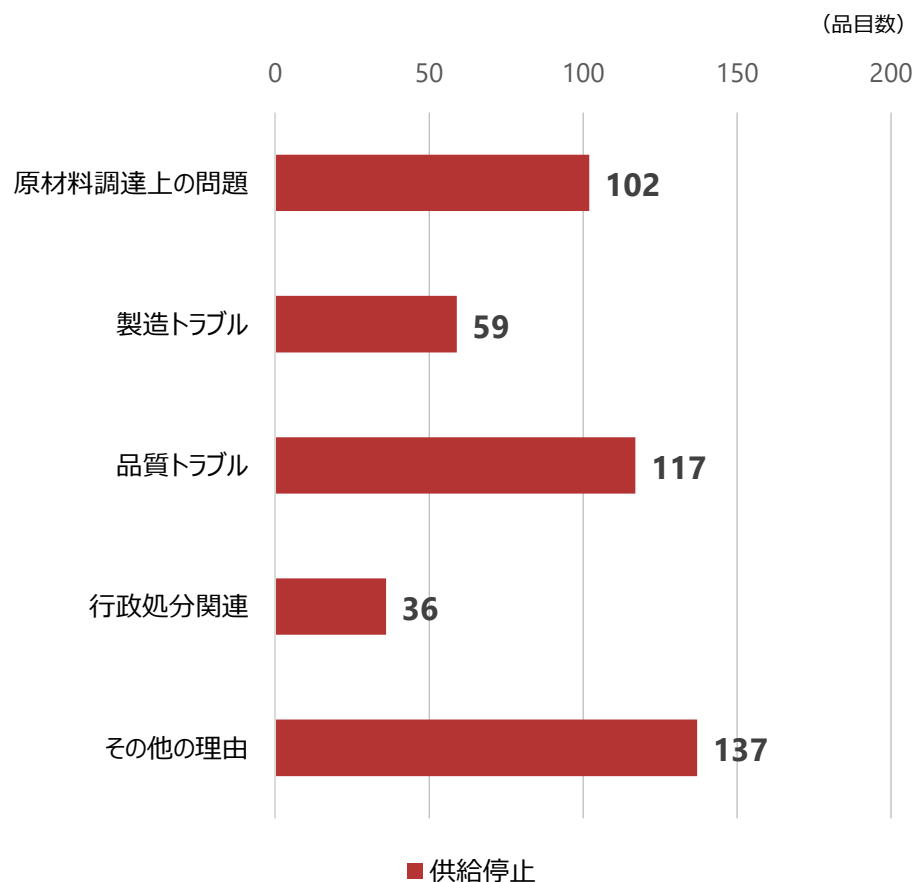
医療用医薬品の出荷量の推移



1 - 4 供給停止・限定出荷の理由（令和7年3月）

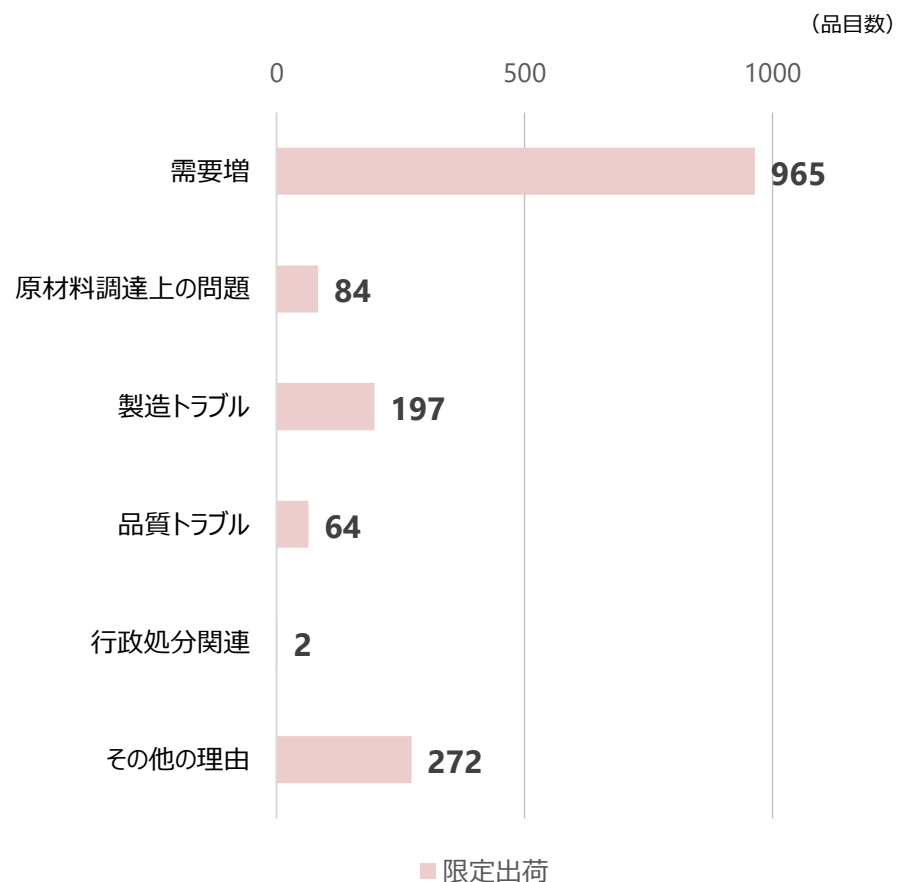
○ 供給停止714品目、限定出荷1,646品目について、供給停止・限定出荷の理由の回答を得た。供給停止の理由は「その他の理由」が最も多く、限定出荷の理由は「需要増」が最多であった。

1 供給停止の理由 ※1



※1 薬価削除が理由である263品目は除く。

2 限定出荷の理由 ※2



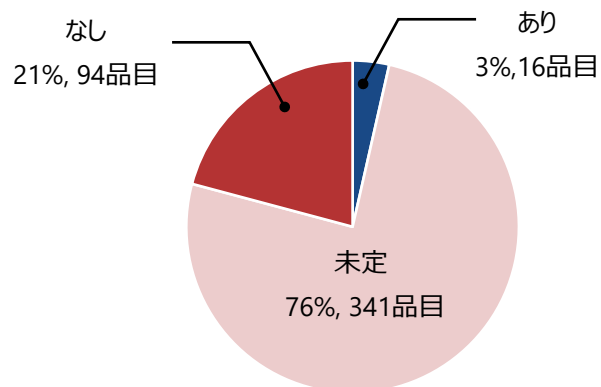
※2 薬価削除が理由である62品目は除く。

1 - 5 供給停止の解消見込み（令和7年3月時点）

○供給停止714品目について、解消見込みの回答を得た。「未定」が最多であった。

○供給停止解消の見込み「あり」と回答されたものについて、解消時期の見込みは「1カ月以内」、「3カ月超」が最多であった。

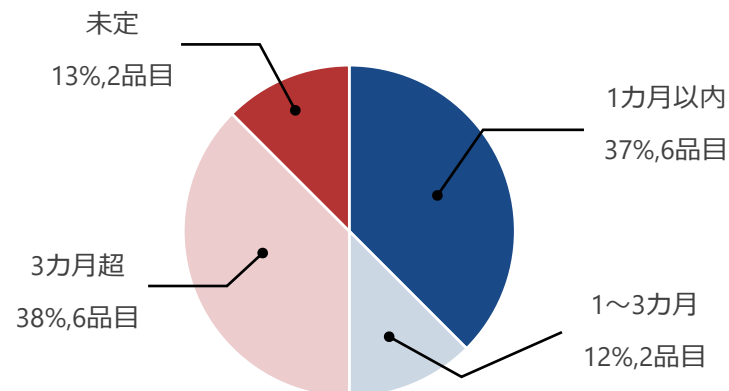
1 供給停止の解消見込み ※1



(単位：品目)

理由	あり	未定	なし
原材料調達上の問題	8	80	14
製造トラブル	3	54	2
品質トラブル	2	109	6
行政処分関連	0	19	17
その他の理由	3	79	55
合計	16	341	94

2 供給停止の解消時期の見込み



(単位：品目)

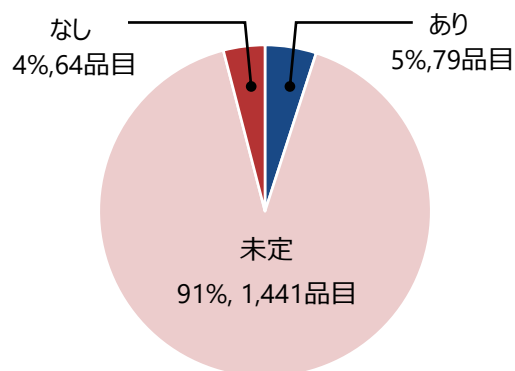
理由	1カ月以内	1〜3カ月	3カ月超	未定
原材料調達上の問題	5	0	1	2
製造トラブル	1	0	2	0
品質トラブル	0	0	2	0
行政処分関連	0	0	0	0
その他の理由	0	2	1	0
合計	6	2	6	2

※1 薬価削除が理由である263品目は除く。

1－6 限定出荷の解消見込み（令和7年3月時点）

- 限定出荷1,646品目について、解消見込みの回答を得た。「未定」が最多であった
- 限定出荷解消の見込み「あり」と回答されたものについて、解消時期の見込みは「1～3カ月」が最多であった。

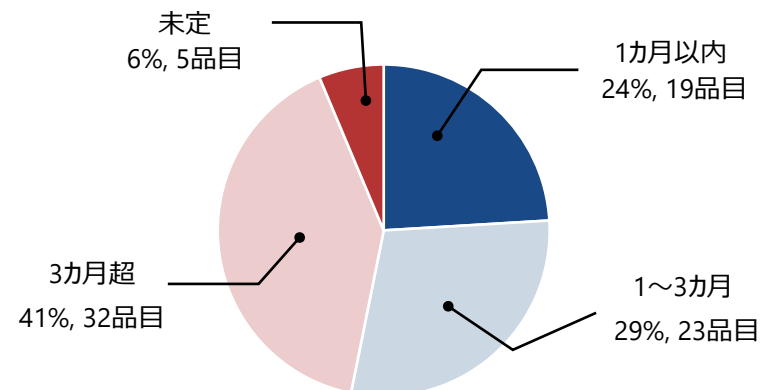
1 限定出荷の解消見込み ※1



(単位：品目)

理由	あり	未定	なし
需要増	38	906	21
原材料調達上の問題	7	68	9
製造トラブル	4	193	0
品質トラブル	2	55	7
行政処分関連	0	2	0
その他の理由	28	217	27
合計	79	1,441	64

2 限定出荷の解消時期の見込み



(単位：品目)

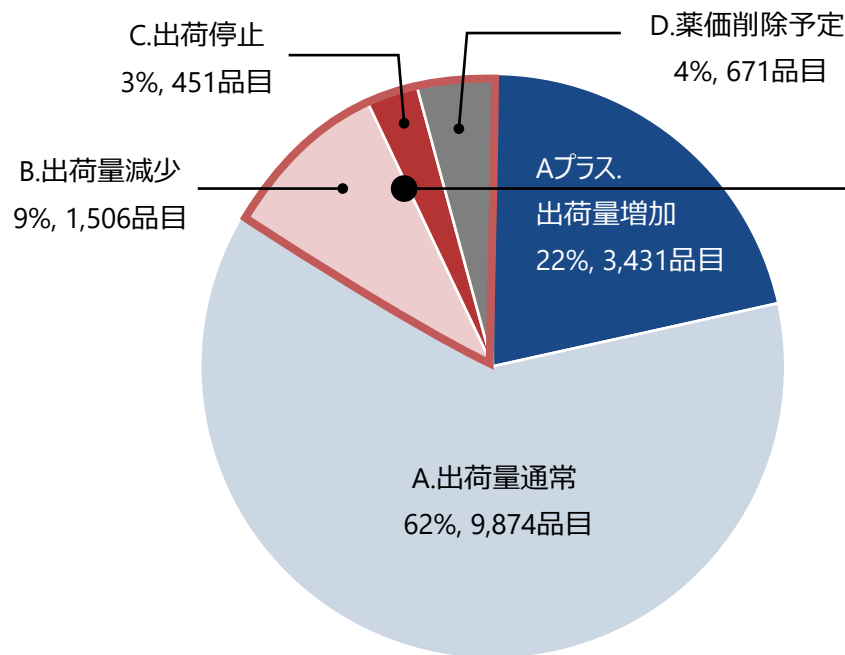
理由	1ヵ月以内	1～3カ月	3ヵ月超	未定
需要増	10	8	15	5
原材料調達上の問題	1	3	3	0
製造トラブル	1	2	1	0
品質トラブル	2	0	0	0
行政処分関連	0	0	0	0
その他の理由	5	10	13	0
合計	19	23	32	5

※1 薬価削除が理由である62品目は除く。

2 製造販売業者の出荷量の状況—医薬品全体（令和7年3月）

- 製造販売業者の出荷量の状況については、調査対象16,618品目に対し、15,933品目の回答を得た。
- **出荷量通常は合計84%**、出荷量通常以外の**出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定が合計16%**であり、出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳としては、いずれも「後発品」が最多であった。

1 医薬品全体の出荷量の状況



A+	出荷量増加	110%以上
A	出荷量通常	90%以上110%未満
B	出荷量減少	90%未満
C	出荷停止	出荷していない状況
D	薬価削除予定	薬価削除手続き中

2 出荷量減少・出荷停止・薬価削除予定の内訳

